

第35期長崎県社会教育委員紹介

所属	長崎県社会教育支援「草社の会」	顧問
	長崎大学 非常勤講師	
氏名	江頭 明文	

主な活動

草社の会は、長崎県社会教育の応援団です。フォーラム等を主催したり、求めに応じて講演、講義、助言等の活動に取り組んだりしています。「社会教育が元気になることが、ふるさとが元気になること」だと信じつつ、「草社の会」の一員として、私にできる活動に取り組んでいます。

「誰一人取り残さない」の理念や「異分野協働」という理念の実現方策に共感して、SDGsの活動にも取り組み始めました。地域の現状を想う時、とても大切な考え方だと思っています。SDGsの考え方で社会教育を、そしてふるさと長崎を元気に！！今、そんなことを思っています。



【県社会教育委員の会議】



【SDGsの講義】

社会教育に対する思い

温かくて泥くさい社会教育が好きです。とりわけ、社会教育活動に熱心に取り組んでいる人たちのことが大好きです。そんな社会教育を巡る環境が、年々厳しくなっていることを危惧しています。でも、ネガティブな条件ばかりを探しては、人やまちを元気にする教育活動は生まれてきません。今、この長崎で、たくさんの人や団体が、人口減少で悩むふるさとを元気にするためのさまざまな組織的活動（社会教育法第2条）に取り組んでいます。私たちのふるすとは、まだまだ捨てたものではないと思っています。

これからの社会教育推進のキーワードは、「つなぐ・つながる」だと考えています。ばらばらに進められている多様な活動や多くの組織をつなぎ、協働化する取組、言い換えれば、多分野協働、多世代交流活動等を、コーディネート（調整）、オーガナイズ（組織化）する社会教育の役割への期待が大きくなってきているのです。思いと力を束ねて、人を育み、人をつなぐ長崎の社会教育の再興に向け、私なりにがんばっていきたいと思っています。